

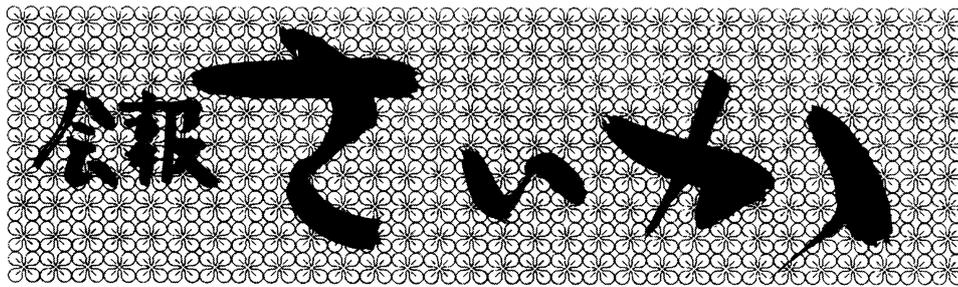
第 45 号

発行所

茶道裏千家淡交会
石川南青年部

石川県小松市小馬出町 123
松本パークハウス 24 号
TEL0761-24-6457

印刷社名
(株) 鶴川印刷



年間テーマ・目標

「できるようになってからやるのではなく、やっでできるようになる」

茶道裏千家淡交会石川南青年部会報

第 25 回

少年少女ジャンボリー

平成 28 年 8 月 20 日(土)、21 日(日)、小松市大杉町の杉みどりの里にて、第 25 回少年少女ジャンボリーが行われました。今年は、子供 46 名、大人 18 名の参加がありました。

一日目は、山中塗の蒔絵師で青年部 OB である谷口博山さんを講師にお招きし、蒔絵教室が行われました。子供達は自分の好きなキャラクターやお花など自由に絵を考え、お皿に漆で絵を描き、その後に谷口先生に教わりながら金と銀の蒔絵をしていきました。親御さんや青年部会員も一緒に作成し、子供達以上に真剣になって、時間をかけて仕上げていました。

夕食後には恒例のハンターゲームが行われ、茶道のクイズを解きながらハンターにつかまらないように早くゴールできるかを競い合い、最後まで子供達は元気いっぱいでした。

翌日は、行松旭松堂の工場長・浜中剛さんによるお菓子作り教室があり、「スイカ」と「花火」のお菓子を教えていただきました。講師の浜ちゃんこ

と浜中さんの説明に子供達は大いに盛り上がり、毎年参加している子供達は慣れた手つきで次々と作り上げていきました。作ったお菓子を持って、次はお茶会体験を行いました。席入りから始まり、青年部ジュニア委員によるお点前があり、お抹茶のいただき方やお礼の仕方など、皆で体験しました。お運びには上級生の皆さんに参加してもらいました。昨日のゲームではあまり興味なさそうだった高学年の子供達がお茶会でお運びするとなると、とても生き生きと楽しそうに動いており、その姿を見て私達青年部もとても嬉しくなりました。

長いようで短い二日間でしたが、泊りがけで茶道を体験し楽しむ、この行事は大変ですが最後には思い出に残る楽しい行事だと思えます。茶道の楽しさを少しでも次の世代に伝える機会として、そして今後も大切な青年部活動のひとつとして続けていきたいと思えました。参加していただいた皆さん、今回参加とお手伝い下さった北陸信越の青年部の皆さん、ありがとうございました。そして毎回楽しい企画を考えてくれる青年部ジュニア委員会の皆さん、お疲れさまでした。楽しかったです。ありがとうございました！

(武田 奈津)





臨時総会 水引細工教室

平成 28 年 9 月 4 日 (日)、小松市芦城センターに於いて、茶道裏千家淡交会石川南青年部臨時総会が行われました。

石川南支部幹事長で青年部育成委員長の岩谷宗久先生と青年部育成副委員長の上出宗智先生をお招きし、ことば・利休居士道歌などを唱和しました。そして来期役員の選考について・特定個人情報取扱規定の制定についてなどの、議案審議の案件が円滑にすべて承認され、また来期役員からの挨拶がありました。

臨時総会終了後に、小松市にある寿司割烹つるまるで昼食をとり、再び小松市芦城センターに於いて、広報委員会主管による水引細工教室が行われました。

今回は青年部会員だけでなく日頃お世話になっている先生方にもご参加いただきました。講師に加賀水引工房・夢結人(メイト)の岸野達也先生をお招きし、水引細工の基本の形である「あ

わじ結び」、あわじ結びから梅の花の形を作る「あわじ梅」を教わりました。当日は金、赤、紺色の三本を各々好きな組み合わせで作成しました。水引細工が初めての参加者も多く、最初は思うような形をつくるのに苦戦していましたが、岸野先生の丁寧な指導のおかげで、皆きれいな梅の花ができました。

(北嶋 恵里香)





「水引細工教室に参加して」

坪内 沙織

繊細で可愛い水引細工が大好きで、とても楽しみにしていた講座でした。まず水引について、今回は90センチの水引を使いました。水引とは、こよりに水引を引いて絹などを巻き付けていったものだそうです。結婚お祝いの「のし」で見かける水引は、あわじ結びといって、一枚貝のあわびに例えていたり、一度結ぶとほどけない結びきりという事で用いられているそうです。今回は、あわじ結と梅結びを教えていただきました。あわじ結びができるとそこから梅結びにつながります。梅結びの花びら2枚はアレンジに

より、うさぎやハートを作る事ができます。私は、同じ梅結びを3つ作り髪飾りにしました。不器用なのですが、講師である岸野先生の解りやすい説明と楽しいお人柄であつという間に時間が過ぎ、黙々と夢中になって作ることができました。自宅でもいろいろな色の梅結びやあわじ結びに挑戦してみようと思っっています。ありがとうございます。



茶花教室

平成28年10月16日(日)、小松市芦城センターに於いて、茶事推進委員会主管による茶花教室が開催されました。講師には石田宗枝先生をお迎えし、青年部会員多数が参加しました。

参加者は生きたい草花を各自持ち寄りました。椿や錦木、すすきなど、秋の草花がたくさん集まりました、教室の一角は野山のような趣となりました。教室の前半は、石田先生から茶花を生ける時の心得や、禁花などの約束事を教わり、茶花についての造詣を深めました。

後半は持ち寄った草花から生けてみたい花を選び、持参した花器や、先生からお借りした花器に茶花を生けました。茶花を生けるのは初めての会員も多く、先生にアドバイスをいただきました。皆真剣に茶花に向き合っていました。来たる炉の季節に向けて、椿を生ける会員も見受けられました。

生け終わった後は自分たちで生けた茶花を愛でながら、和菓子とお茶を美味しくいただきました。一度に何種類もの草花に触れ、先生から生け方を直接指導していただいたことは、参加し

た会員には有意義な体験となったこと
でしょう。
(立花 千佳)



「茶花教室に参加して」

西村 明子

10月16日(日)に、茶花教室に参加しました。講師に石田宗枝先生をお招きし、初めにお花の講義をしていただきました。その後、各自で実際にお花を生け、生けたお花を先生に直接ご指導いただくこともできました。

石田先生の講義は、とても丁寧で分かりやすく、お花だけではなく花器の種類、薄板の種類などについても教えてくださり、普段なかなか聞けないことばかりでもとても勉強になりました。実際に生けてみると、なかなか思い通りにならず生ける難しさを感じましたが、先生が一人ひとりに丁寧に指導してくださり、生けるコツなども教えてくださって、皆さん本当に上手に生けることができていました。

今回は、各自で生けてみたいお花を持参することになっていたのですが、参加されるみなさんが山へ行ったりしていろいろな野花を採ってきてくれたので、生けきれないほどのたくさんのお花が集まりました。たくさんのお花に囲まれ、青年部の皆さんと和気あいあいとした雰囲気の中でお花を生けるのは、本当に楽しく、あつという間に時間が過ぎてしまいました。生けたお花を観賞しながらいただいたお茶も格

別に美味しく感じました。これからは、散歩に行ったときにちよつと摘んできたお花を生けて家に飾ってみたりしながら、お花に触れる時間を増やしたいと思います。



研修チーム報告

北陸信越ブロック第7期研修チームに参加されていたスミスめぐみさんと村崎圭さんが、平成27・28年の二年間の研修を無事修了されました。お二人から研修を終えての感想をいただきました。

「研修チームに参加して」

スミス めぐみ

今回ご縁があり、第7期研修チームに参加させていただきました。どんな事が学べるのだろうかという楽しみに参加し、毎回いろんな事を学ばせていただきました。また、他の青年部の方との交流の時間もたくさんあったので、いろんな話が出来ました。そして最後には研修チーム皆で力を合わせての卒業茶会がありました。自分達で考え、準備し、時には大変な思いもしましたが、仲間にかけてもらい、絆が深まったように思いました。当日も、自分達の精一杯の前のめりで頑張り、喜んでいただけたと思うので、達成感がありました。このような機会に参加でき、とても感謝でした。ありがとうございます。

村崎 圭

二年間の研修に参加させていただき、長野県では茶碗作り、福井県では茶道具講習と懐石講習、石川県ではお菓子作りと蒔絵体験をしました。毎回の研修で、お稽古とは違った角度で茶道の楽しさを知ることができました。

また、普段、お会いする機会がない他県の青年部の方々とお話しができ、これから参考にしていきたいと思うことが、たくさんありました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



卒業茶会・納会

平成 28 年 11 月 27 日 (日)、小松市龍

助町の松雲堂において、石川南青年部卒業茶会が行われました。平成 27 年度卒業の奥村洋子さん、若山直代さん、そして 28 年度卒業の石堂みゆきさんの 3 名の卒業生をお迎えし、懐石・続き薄茶でのおもてなしをさせていただきました。今回の卒業茶会は、青年部を卒業しても今までと変わらず強い絆で結ばれていることを伝えたい、これからも続いているという想いで設えをしました。懐石は岩谷樹部長を中心に動き、水屋・お運び・亭主・お点前もそれぞれが卒業生のために、と心を込めてさせていただきました。勉強不足の点は多々ありましたが、このような実践的な機会はとて貴重で、本当にとっても良い経験をさせていただけたと思います。

お茶会後には水屋担当も含めて卒業生の方々とゆつくりお話ができ、ジャンボリーでの出来事を思い出して話したりして懐かしい気持ちになりました。当日は静かな冬の雨の日でしたが、先輩方との会話と思い出話に心温まる時間を過ごすことができました。

夜には、小松駅前「かまど」で納会が行われ、卒業生の皆さんも一緒に、今年一年の打ち上げをし、話の尽きない楽しい会となりました。

石堂さん、奥村さん、若山さん、本当にありがとうございました。卒業しても変わることもなく一緒にお茶を楽しんで続けていけたら嬉しく思います。ありがとうございます！

(武田 奈津)



「卒業茶会に寄せて」

28 年度卒業・石堂 みゆき

先日は、心尽くしのおもてなしをしていただき、ありがとうございます。皆さんの心遣いが、そこかしこに感じられて、幸せな時間を過ごすことができました。相手に対する心遣いが最高のもてなしになるのだと、改めて感じました。青年部での経験は、苦勞した事も含めて全て財産であり、大切な思い出です。これからも、素敵な青年部であり続けてくれることを願っています。

本当にありがとうございました。



《 任期終了に寄せて 》

2 期 4 年にわたって、石川南青年部の部長を務められました岩谷樹部長より、4 年間の振り返りの思い出等を寄せていただきました。

「 4 年間の振り返って 」

岩谷 樹

青年部に入って初めて、お茶会を自分たちで一から作りました。毎回、とても大変です。しかし、お客様に喜んでいただけたときには、とても嬉しく、苦勞も吹き飛ばす思いでした。茶会をするたび、次にお茶会のお客様になったとき、それまでほとんど気にしていなかったものに目がいくようになりました。

灰形を経験した後は、必ず灰形を拝見するようになりました。

花を生けるようになってからは、床の花の拝見に時間がかかるようになりました。

茶碗作りをすれば茶碗の造形が、茶杓を削ってからは茶杓の形が気になります。

道具組みにも、毎回、感心させられます。

お茶を飲んだ後には、そこらじゅう

の道具を拝見してまわり、あれこれ聞いて、しかしこれでは次のお席の準備ができないから早く退席しようと思わなくて困るのですが。

また部長を務める間には、茶会の亭主としてお客様とお話する機会をいただきました。正客の席にて勉強させていただきましたことでもあります。うまくできなかったことが思い返され、茶会で亭主や正客の話す内容、タイミングなどに、耳をそばだてるようになりました。

ただ一服の御茶を喫する会ですが、その周りにはとても多くの、お客様への心遣いやご苦勞があります。それが、ただ一服の御茶を喫するだけではない茶会を作るのだと思います。

2 期 4 年の任期のあいだ、初めは新しい役目を務める自分のことで精一杯でしたが、徐々に、自分が多くのお茶会を経験することで増して行ったお茶会の楽しみ、これを、より多くの方に伝えなければならぬと思うようになり、新しい経験が皆様を待っていること、新しい経験が皆様を待っていること

と思います。今度はそれを支える立場として、精一杯、努めさせていただきますと思います。

皆様には日頃よりお世話になり、誠にありがとうございます。今後とも裏千家茶道を、石川南青年部を、よろしくお願いいたします。



編集後記

早いもので広報誌さいかも今回で 45 号となりました。広報委員長として 2 期 4 年間務めさせていただきました。文章や写真で会員の皆さんの活動を振り返ってみると、大変だったこと

や楽しかった場面が思い出され、発行する度に私にとって毎号大切なものとなりました。青年部の頑張りと思いがつまったこの広報誌、作り上げた先輩方から引き継ぎ、これからもまたその先へと繋げていきたいと思えます。来期の北嶋広報委員長を中心に、また新しいメンバーでの「さいか」を、これからもよろしくお願いいたします。

(武田 奈津)

青年部会員募集中

私たちと一緒に活動しませんか？

詳しくは・・・

淡交会事務所

(0761-24-6457)

石川南青年部部長 岩谷

(0761-22-6311)

「さいか(細花)」とは？

細かい花のようにお茶が点つている様子を表した言葉。

会員一人一人は小さい花かもしれませんが、みんなが集まって青年部として一つの大きな花を咲かせていくように、という気持ちが込められています。